



令和2年6月12日

第2号

こども青少年局 保育・教育人材課 幼保連携担当

「幼保小連携だより」

育ちと学びをつなぐ

「横浜版接続期カリキュラム実践事例集 第7集」刊行にあたって

本事例集は、「遊びを通した総合的な学びから教科等を通した学びへ」をテーマとし、主体的・対話的で深い学びを実現するために、保育者や教職員がそれぞれの実践を持ち寄り、どのような場を構成して、どのような手立てを講じてテーマに迫ったのかを語り合い創り上げました。幼児教育施設や学校で子どもたちの学びに携わる方々におかれましてはぜひ本事例集「第7集」を活用し、それぞれの実践にお役立てください。



Point 1

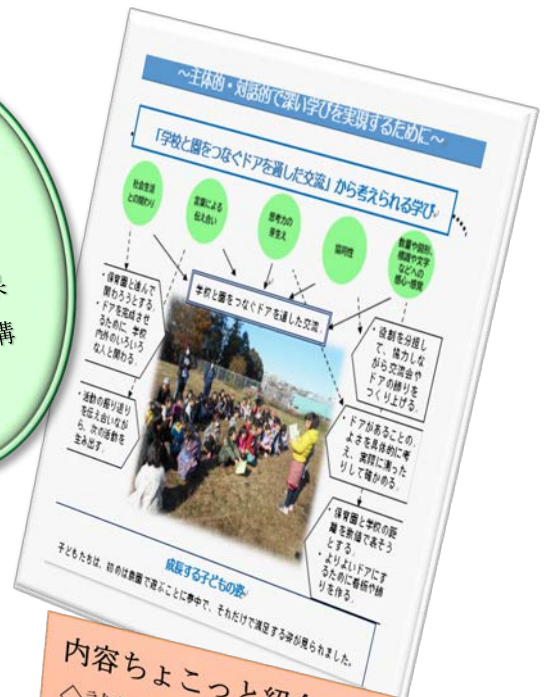
活動や学びの
発展や深まり
に向けて、保
育や授業を構
成する

Point 2

子どもの思い
や願いが高ま
った瞬間を捉
えて直接働き
かける

Point 3

豊かな体験が
できる場や、
対話・話合い
の場をつくる



- 内容ちよこっと紹介
- ◇ 試行錯誤しながら学ぶ、園での実践
 - ◇ 友達との関わりを深めた、小学校での実践
 - ◇ カリキュラム研究推進校での取組
 - ◇ アプローチカリキュラムの実践事例

購入に関する問い合わせ先	市政刊行物・グッズ販売コーナー	045-671-3600
内容に関する問い合わせ先	横浜市こども青少年局保育・教育人材課幼保小連携担当	045-671-3731

幼児期に培った力を小学校での学習につなげるために…

各事例では、日常生活の中から子どもが夢中になって取り組んだ活動や試行錯誤を繰り返しながら創りあげた活動の様子を、具体の姿をもとに掲載しています。乳幼児期の「学びの芽生え」は小学校の低学年で育つ「自覚的な学び」の基盤になっていくことが伝わってきます。子どもたちの学ぶ意欲を高める「スタートカリキュラムの充実」にもお役立ていただける内容です。

繰り返し体験することから興味・関心が広がる

事例（5）P41～ 3歳児の実践



りんごの皮の匂いのボトルを作り、「ごうか ごうか！！」と嬉しそうです。

果物の皮がいっぱい残った袋の匂いを嗅いで「全部いい匂いがする」と大興奮です。

匂いのボトルづくりが楽しくなると家から果物を持ってきて匂いを楽しんでいた子どもたち。さらには、匂いで物を当てることも・・・

「遊び込む」ことで広がった

子どもの「思いや願い」を大切にする

事例（7）P55～ 1年生 生活科の実践



日なたと日かげの水たまりを触り比べ「すごくあったかい。温泉みたい」「木の陰の水たまりは冷たいよ。お日様が当たらないからかな」「面白いね」と水の変化や触り心地など自然の面白さ、不思議さに気がきます。

もっと遊びたい気持ちが川づくりやまとあてに発展。ところが、困った事が・・・子どもたちはどう解決していくのでしょうか。